

人から御礼へ宛てた手紙。
「遊欧印象小作集」を贈
と御礼と「小生より申上
心苦しけれど／畫印の
力と云ふことに／一層御
有之度候」と、魯山人ら
想を一言添えている。

COLUMN 5

人との
出会い

真田邦子

Kuniko Sanada



昭和6年4月、和楽庵庭門前にて吉田家の人びと。一番右に御舟、その手前に妻の弥（いよ）、後列左から3番目に義兄の吉田幸三郎、その隣は幸三郎の実妹にして弥の姉にあたる豊（とよ）。幸三郎の前に座っているのは御舟の義母にあたる吉田かう。